

法学A (Law A)					担当教員
					教授 野崎 亜紀子
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
人と文化	1年次 後期	講義	1.5単位	選択	

【概要】

法的にモノの考える能力（法的思考力）は、社会の一員として身につけておかねばならない素養です。特に、専門家や専門職集団には、自分たちの取り組みを自ら評価し、あるべき姿勢とは何かを問いそれを自ら等のルールとして構成し、行動する能力が求められます。法学とは、細かな法律の知識を知ることではありません。法学Aでは、法的思考とはどのような思考法を取るのか、そしてそれはなぜなのかを、具体的実践的課題とともに考えます。

【授業の一般目標】

上記概要に示した、「法とは何か」、そしてなぜ法は社会に存在し、私たちはそれに従わなければならないのかについて、受講生が理解し、このことを言葉によって明示できるようになることを目標とします。

【準備学習(予習・復習)】

(1)提示した資料を読むこと（事前・事後）。(2)課題に取り組むこと。(3)日常の社会問題に関する基本的知識を前提とするため、新聞を読み、社会に起きる事柄に幅広く目配りをする。単位修得のためには十分な予習・復習が必要となります。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	「法学A」を学ぶために	野崎	本講義の概要を確認し、講義の基本方針、進め方、取り組み方を理解し、説明できる
2	国家とは何か（1）	野崎	国家による決めごと（法令）には何故従わなければならないのか。その理由と、私たち個人の選択（自己決定）との関係を理解し、説明できる
3	国家とは何か（2）	野崎	国家というのは、なぜ、どのように作られる必要があるのか、その理論的理由を理解し、説明できる
4	国家とは何か（3）	野崎	個人（わたし）の自由は国家の中でどのように保障されるのかを理解し、説明できる
5	国家とは何か（4）	野崎	自由を守る国家とはどのような国家であり得るのかを理解し、説明できる
6	国家とは何か（5）	野崎	「自由」とはどのようなことを意味するのか。法が守ろうとする自由の有様について理解し、説明できる
7	国家とは何か（6）	野崎	様々に異なる人々で構成される社会の中で、法的思考に基づいた人々が共存するために必要なものの考え方について理解し、説明できる
8	法の支配（1）	野崎	法はなぜ、どのようにして強制力を持つのかを理解し、説明できる
9	法の支配（2）	野崎	法と道徳とはどのように違うのかを理解し、説明できる
10	法の支配（3）	野崎	法の機能とは何か、法の支配の限界問題を理解し、説明できる
11	法の支配（4）	野崎	憲法とは何か。法と国家の関係について理解し、説明できる
12	民主主義（1）	野崎	多数決とは何をどのように決めることか、なぜ多数決で決めるのかを理解し、説明できる
13	民主主義（2）	野崎	民主政の歴史とその問題点を理解し、説明できる
14	法に従う義務	野崎	なぜ私たちは法に従う「べき」であるのかという問いの意味と、その応答の可能性を理解し、説明できる
15	総括・まとめ		

（書名）

（著者・編者）

（発行所）

教科書 必要に応じて、提示・配布します。

参考書 必要に応じて、提示・配布します。

【成績評価方法・基準】

成績評価は、期末試験および提出課題の内容によります。評価は絶対評価とし、(1)講義内容および(2)十分な事前事後学習を踏まえた課題・試験解答となっているか、この2点を基準とします。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワー：金曜日5限 授業内容に関する質問がある場合には研究室（育心館4F）に直接来るか、または、メール [a-nozaki@mb.kyoto-phu.ac.jp] でも受け付けます。出張等でオフィスアワーを持ってないときもありますので、メール等で前もって尋ねてください。